

取扱説明書

日立リビングサプライ

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
必ずご記入をお受けください。

デジタルオーディオプレーヤー HMP-G1形

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。



- 本機には、デモ用として、「ザ★ボン」のDEBUT MAXI SINGLE「サニードライブ」の3曲「サニードライブ」、「星の砂」、「ヒカリ」をサンプル収録しています。(楽曲は約45秒間の試聴サンプル)

目次

はじめに 3

安全上のご注意	3
あらかじめご承知いただきたいこと	8
使用上のご注意	9
主な特長	10
付属品を確認する	11
各部の名前	12
表示画面の見方	13

準備する 14

バッテリーについて	14
・充電する	15
・バッテリー残量表示について	18
イヤホンを使用する	19
ストラップを取り付ける	20
電源をオンにする／オフにする	21
日付と時刻を合わせる	22
ホールド機能を使う	25
音量を調節する	26

再生する前に 27

パソコンから曲ファイルを取り込む	27
・パソコンから曲ファイルを取り込む前に	27
・パソコンに接続して曲ファイルを取り込む	32
・パソコンから取り外す	36
マイクから音声を録音する (ボイスレコーダー機能)	38

再生する 40

ルートメニューについて	40
フォルダ構造について	42
曲／音声ファイルを再生する	44
・再生／一時停止／停止する	44
・停止中／再生中のボタン操作	45
繰り返し／シャッフル再生する	46
音質を変更する(EQ(イコライザ)の設定)	48
曲の一部を繰り返し再生する (A-Bリピート機能)	50

各種設定 51

各種設定を変更する	51
・メニュー項目と設定内容	52

消去する 57

曲／音声ファイルを消去する	57
フォーマット(初期化)する	59

付録 61

用語解説	61
パソコントラブルシューティング	62
故障とお考えになる前に	68
仕様	75
メニューリスト	77
索引	80
お客様ご相談窓口	82

はじめに

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
安全のため必ずお守りください。

絵表示について

製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味



記号は、「してはいけないこと(禁止事項)」を示しています。



記号は、「しなければならないこと(強制事項)」を示しています。

警告

■ 分解・改造しない



分解禁止

本機を分解、改造しないでください。

火災、感電の原因になります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 異常が起きたら、パソコンまたはUSBケーブルから本機を取り外す



指示

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●お買い上げ店にご相談ください。

■ 運転中は使用しない



禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない



禁止

水・異物が内部に入ったら、使用しないでください。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

●お買い上げ店にご相談ください。

■ 水がかかる場所で使用しない



水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

■ 風呂場・シャワー室で使用しない

火災・感電の原因になります。

水場禁止

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。また、突然大きな音が出て耳を痛めることがありますので、音量は徐々に上げるようご注意ください。

■ 置き場所に注意する

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因になります。また、窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因になります。

■ 火に近づけたり、火の中に投げ込まない

禁止

破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

■ お子様の手の届かないところで使用・保管する

指示

乳幼児が誤って本機や付属品を飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

■ 本体やUSB端子を布団などで覆った状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。



禁止

■ コネクタ(端子)部には、指定以外のものを接続しない

火災・感電の原因になることがあります。



禁止

■ 飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない

事故の原因になることがあります。



禁止

■ 油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

火災・感電の原因になることがあります。



禁止

■ 異常な高温になる場所に置かない

暖房器具に近いホットカーペットの上、窓を閉め切った自動車の中や直接日光に当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。



禁止

■ 本機の上にものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

禁止

■ 本機をストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する

けがや本体の故障の原因になることがあります。

指示

■ ストラップの取り扱いに注意する

首などが絞まりすぎないように、ストラップの取り扱いにはご注意ください。

指示

あらかじめご承知いただきたいこと

免責事項

- 本製品およびパソコンの不具合によって曲ファイルや記録されているデータが破損、または消去された場合のデータの補償に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品のご使用によって生じたその他の機器やソフトの損害に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品のご使用、または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、中断を含む)に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

- 放送やCD、レコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したデータを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)にお尋ねください。
(JASRAC本部: TEL.03-3481-2121)

商標について

- Windowsは、Microsoft Windows operating systemの略称です。
- Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中にTM、Rはマーク明記していません。

使用上のご注意

大切な録音や再生は事前に確認を

大切な録音や再生の場合は、正常に録音や再生ができることを必ず事前に確認してください。

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0～40℃（結露しない状態）です。

温度差の大きい場所へ急激に移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な再生ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませた後、袋から取り出してください。

また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電源をオフにして、水滴が消えるまで待ってから、ご使用ください。

本書について

- 本書に記載している表示画面の表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- 本製品に関するお問い合わせ、およびサポート、カタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。
- 本書に記載の外観および仕様は、製品改良のために予告なく変更することがあります。

お手入れ

やわらかい布でからぶきしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。

バッテリーについて

- 本機に内蔵のバッテリーは、リチウムポリマー充電電池を使用しています。詳しくは、「バッテリーについて」の注意(→P.14)をご覧ください。

主な特長

2色有機ELディスプレイ搭載

- 高輝度の有機ELディスプレイにより、曲情報などをくっきりと表示します。

1GB内蔵メモリ搭載

- 128kbpsのWMA形式の曲ファイルなら、約240曲入ります。(→P.28)
- USBメモリとして曲ファイル以外のデータを保存したり、持ち運ぶこともできます。

MP3・WMA・WAV対応

- MP3、WMA、WAV形式のファイルを再生できます。(→P.27)
- 自分でCDから取り込んだ曲ファイルだけでなく、インターネットからダウンロードしたWMA形式の曲ファイルも再生できます。(→P.31)

マストレージ対応

- パソコンに接続すると、曲／音声ファイルだけでなく、画像ファイルやその他のデータを内蔵メモリに保存することができます。

ボイスレコーダー機能

- 内蔵マイクを使用して、会議や家族への伝言メモなどを録音できます(WAV形式)。(→P.38)

ID3タグ対応

- 曲名やアーティスト名などの曲情報を表示できます。(→P.27)

A-Bリピート機能

- 聞きたい部分を指定して、繰り返し再生できます。(→P.50)

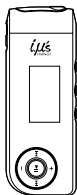
イコライザ機能

- 曲に合わせて音質を選ぶことができます。(→P.48)

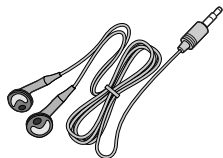
付属品を確認する

はじめに、本体と付属品を確認してください。

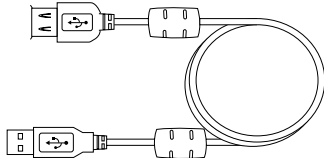
●本体(1)



●イヤホン(1)



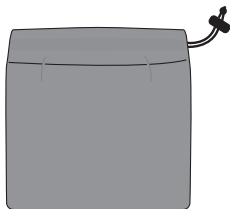
●専用USB延長ケーブル(1)



●ネックストラップ(1)



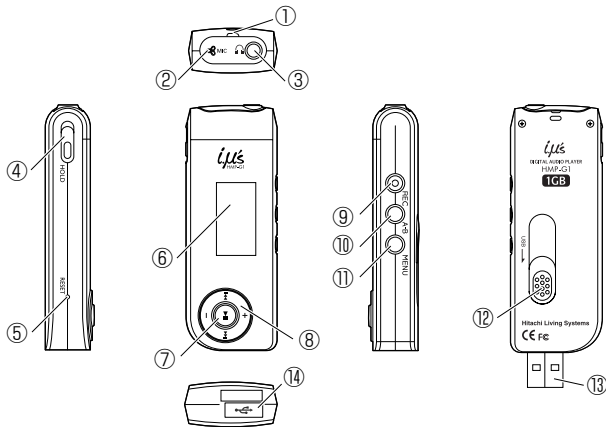
●ポーチ(1)



●取扱説明書(1)
(本書:保証書付き)



各部の名前



①ストラップ通し穴

②内蔵マイク

③イヤホン端子

④HOLD(ホールド)スイッチ

⑤RESET(リセット)ボタン

⑥表示画面

⑦電源/再生/一時停止(▶||)ボタン

※ 電源のオン/オフや再生/一時停止、設定変更時の決定操作などに使用します。

⑧操作ボタン

※ 早送り/早戻し/音量調節などの基本操作や、設定変更時の上下左右操作などに使用します。

⑨REC(録音)ボタン

⑩A-Bリピートボタン

⑪MENU(メニュー)ボタン

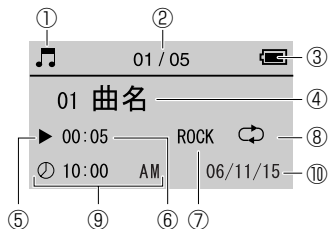
⑫USBコネクタスライダー

⑬USBコネクタ




⑭USBコネクタカバー

表示画面の見方

【再生中表示画面】



①再生モード

-  : フォルダ再生モード
-  : 音楽再生モード
-  : ボイス(音声ファイル)再生モード

②表示中トラック/トラック数

③バッテリー残量(→P.18)

④曲情報(→P.27)

⑤状態(再生▶/一時停止||/停止■)

⑥再生経過時間

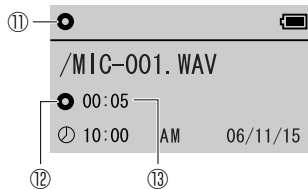
⑦イコライザ(→P.48)

⑧プレイモード(→P.46、47)

A-Bリピート(→P.50)

⑨現在時刻

【ボイス録音中表示画面】



⑩日付(年/月/日)

⑪●:録音モード

⑫状態(録音中●/一時停止||/停止■)

⑬録音経過時間

準備する

バッテリーについて

ご使用になる前に本機を充電してください。

注意

- 本機は、リチウムポリマー充電電池を使用しています。
- 充電は0℃～40℃の温度範囲で行なってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、十分に充電できない場合があります。
- 充電時間は約2時間です。充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 本機は電源オフ時でも、内部時計のバックアップ用としてバッテリーを使用します。
- 本機の規定充電回数(寿命)は約300回です。なるべく使い切ってから充電することをおすすめします。フル充電してもバッテリー持続時間が半分程度になった場合は、充電電池の劣化と考えられます。このような場合でも、1GBフラッシュメモリとしてご利用になれます。
- 24時間以上の連続充電はしないでください。
- 本機を分解して内蔵の充電電池を取り外すことはできません。

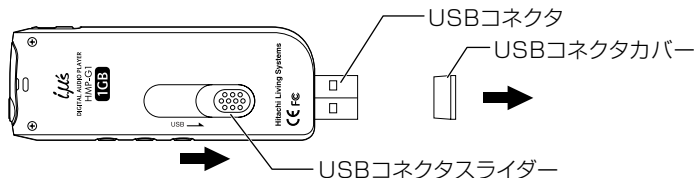
充電する

本機はパソコン(電源が入っている状態)とUSB接続することによって充電されます。
(充電時間:約2時間)

パソコンにUSB接続する前に動作環境をご確認ください。(→P.29)

初めてお使いになるときは、フル充電になるまで、連続して充電してください。

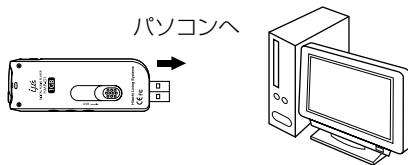
- 1 USBコネクタスライダーを軽く押しながら矢印方向へスライドさせてUSBコネクタを出し、USBコネクタカバーを取り外します。



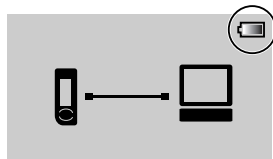
ちょっとこれを!

- USBコネクタをしまうときは、USBコネクタスライダーを軽く押しながらスライドさせます。
また、USB接続しないときは、USBコネクタカバーを取り付けてください。

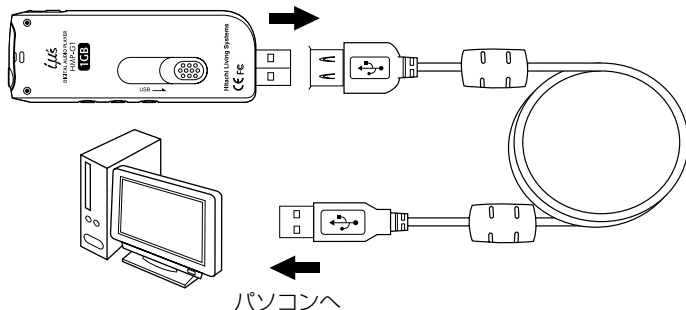
- 2** パソコンの電源を入れ、差し込む向きに注意して、USBコネクタを接続します。
パソコンに接続すると図のように表示され自動的に充電を開始し、バッテリーマーク内がスクロールします。



【表示画面】

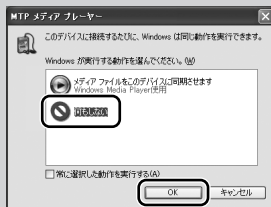


また、本機をパソコンに直接USB接続できない場合は、付属の専用USB延長ケーブルを使用して接続してください。
差し込む向きにご注意ください。



注意

- パソコンがサスペンド／スタンバイ／休止状態のときは充電できません。
- ノートパソコンなどで、外部電源を使用していないときは、充電できない場合があります。
- 初回接続時は「新しいハードウェアが見つかりました」ウィザードが表示され、自動的にパソコンが本機を認識する動作を行います。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ]をクリックし、画面の指示に従ってください。「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
- Windows XPをご使用の場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない]を選び、[OK]をクリックします。

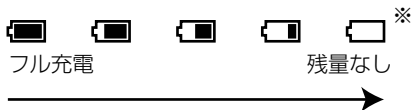


- 3** 表示画面左上のバッテリーマークが、スクロールから点灯に変わったら充電完了です。
- 4** 充電が完了したらご使用のパソコンに応じた正しい取り外し方(ハードウェアの安全な取り外し)でUSB接続を外します。(→P.36、37)

バッテリー残量表示について

表示画面右上のバッテリーアイコンは、バッテリー残量を示しています。
バッテリー残量が少なくなったら、充電してください。

【表示画面】



※ この表示の場合、表示部が点灯しなかったり、正常に動作しない場合がありますので、充電してください。

注意

- 電池残量がなくなると、バッテリーマークが60秒間点滅し、電源がオフになります。
- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- バッテリー残量の表示はご使用上の目安としてご利用ください。

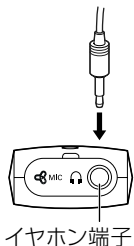


ちょっとこれを!

- 連続再生時間: 約12時間
※ MP3(128kbps)、音量: 中央、省電力モードに設定した場合。

イヤホンを使用する

本機の電源がオフになっていることを確認して、図のようにイヤホンのプラグをイヤホン端子に差し込みます。

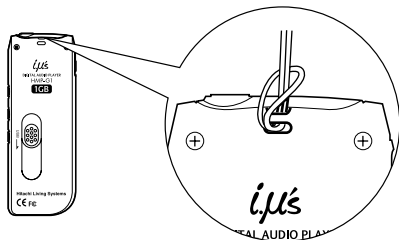


注意

- イヤホンのプラグを抜き差しするときは、必ず本機の電源をオフにしてください。また、イヤホンを耳にはめたまま、イヤホンのプラグを抜き差ししないでください。耳をいためるおそれがあります。
- イヤホンのプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になります。常により音で使用いただくために、イヤホンのプラグ部分をやわらかい布などで乾拭きしてください。

ストラップを取り付ける

付属のストラップを、図のようにストラップ通し穴に取り付けます。



電源をオンにする／オフにする

電源をオンにする

表示画面に「Welcome」が表示されるまで、電源／再生／一時停止(▶||)ボタンを長押しして電源をオンにします。

注意

- ホールドスイッチがホールド状態の位置にあるときは、一旦電源が入りますが、表示画面に🔒が表示され、電源がオフになります。ホールド状態を解除してから電源を入れ直してください。

電源をオフにする

表示画面に「ByeBye」が表示されるまで、電源／再生／一時停止(▶||)ボタンを長押しして電源をオフにします。

注意

- 電源／再生／一時停止(▶||)ボタンを押す操作が短すぎると、電源がオフにならない場合があります。

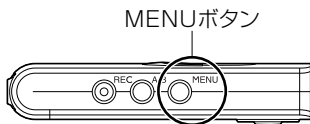
日付と時刻を合わせる

初めてご使用になるときは、以下の手順で本機の日付と時刻を合わせます。

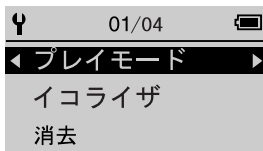
1 MENUボタンを押します。

図のような画面が表示されます。

【本体】

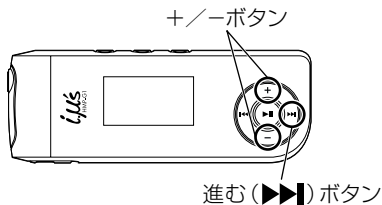


【表示画面】



2 +または-ボタンを押して、「設定」を選択し、進む(▶▶)ボタンを押して決定します。

【本体】

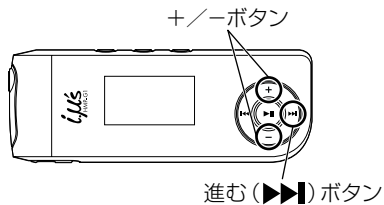


【表示画面】

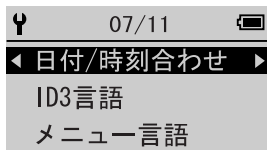


- 3** +または-ボタンを押して、「日付/時刻合わせ」を選択し、進む(▶▶)ボタンを押して決定します。

【本体】

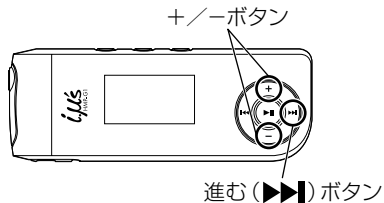


【表示画面】



- 4** 進む(▶▶)ボタンで「年」「月」「日」「AM/PM/24」「時」「分」をそれぞれ選択し、+または-ボタンでそれぞれの数値を設定します。

【本体】



【表示画面】



-
- 5** 電源／再生／一時停止(▶||)ボタンを押して設定した日付と時刻を決定し、設定メニューに戻ります。(戻る(◀◀)ボタンで一つ上の階層に戻ります。)



ちょっとこれを!

- MENUボタンを押して設定などをする画面は、約8秒間何も操作しないと再生画面に戻ります。このような場合は再度MENUボタンを押して設定しなおしてください。
- 本機を長期間使用しないままでおくと、設定した日付と時刻がリセットされてしまいますのでご注意ください。

ホールド機能を使う

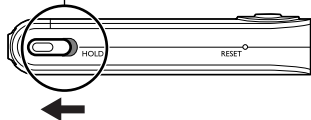
本機をカバンやポケットに入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押してしまっても動作するのを防ぐ機能です。

HOLDスイッチを矢印方向にスライドさせると、ボタン操作が機能しないホールド状態になります。

解除するときは、HOLDスイッチを元の位置に戻します。

【本体】

ホールド状態



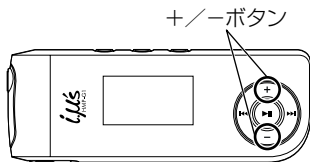
【表示画面】



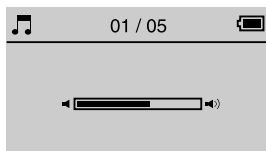
音量を調節する

+または-ボタンを押して音量を調節します。

【本体】



【表示画面】



【注意】

- 音量の調節は、再生中に音量を確認しながら行ってください。

再生する前に

パソコンから曲ファイルを取り込む

パソコンから曲ファイルを取り込む前に

再生できるファイル形式を確認する

以下の条件のファイルを再生できます。

- **MP3(MPEG-1 Audio Layer-3)**

ビットレート:32~320kbps

※ 曲情報はID3[Ver.1/Ver.2]タグ形式に対応していますが、本機で表示できる曲情報は「曲名」、「アーティスト名」、「アルバム名」です。ID3タグ形式の他の曲情報(ジャンルなど)は表示されません。

- **WMA(Windows Media Audio)**

ビットレート:32~192kbps

※ デジタル著作権管理(DRM9/10)対応のWMAファイルも再生できます。

- **WAV(Windowsの標準的な音声ファイル)**

注意

- MP3ファイルの場合は128kbps以上、WMAファイルの場合は64kbps以上のビットレートを推奨します。上記ビットレート以下の場合でも、再生することはできますが、音が割れて聞こえる場合があります。
- デジタル著作権管理(DRM)対応のWMAファイルは、デジタルデータの著作権を保護するため複製に制限がかけられています。(→P.69、72)

収録可能な曲数(目安)

1曲を約4分で換算した場合の目安は次のようになります。

ファイル形式	ビットレート	曲数
MP3	128kbps	約240曲
	192kbps	約180曲
	256kbps	約120曲
WMA	64kbps	約380曲 [*]
	96kbps	約360曲
	128kbps	約240曲
	192kbps	約180曲

※ 収録可能な曲数(ファイル数)の上限は380曲です。



ちょっとこれを!

- ビットレートの数値が大きくなると音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなり、内蔵メモリに記録できる曲数は少なくなります。
推奨のビットレートを目安にお試し頂き、目的に応じたビットレートを設定してください。

パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続する場合は、以下の条件がそろっていることが必要です。接続する前に必ずご確認ください。

- 対応OS: Windows XP/2000/Me日本語版
- USBインターフェース(1.1/2.0仕様)を標準装備している機種

注意

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証できません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証できません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

音楽CDから曲ファイルをパソコンに取り込む(パソコンに録音する)

Windows Media Player 10などのソフトウェアを使うと、音楽CDからパソコンへ曲を取り込む(録音する)ことができます。

ここでは、Windows Media Player 10を使った方法をご紹介します。

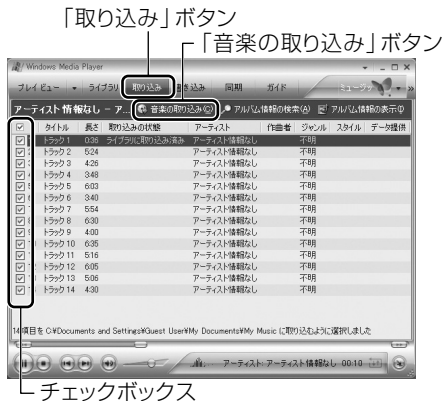
詳しくは、お手持ちのパソコンの取扱説明書やWindows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

1 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れます。

2 Windows Media Player 10を起動します。

3 画面上部の[取り込み]ボタンをクリックします。

音楽CDから読み込んだ曲がリスト表示されます。すべての曲(チェックボックス)にチェックマークが付けられています。



4 取り込まない曲のチェックボックスをクリックし、チェックマークを外します。

5 [音楽の取り込み] ボタンをクリックします。

選択した曲の取り込み(パソコンへの録音)が始まります。



ちょっとこれを!

- [ツール]—[オプション]—[音楽の取込]で、取り込み場所、取り込みの形式、取り込みの音質(ビットレート)などを変更することができます。
- 特に変更をしない場合(初期設定)は、「マイミュージック」フォルダ内に「アーティスト名」フォルダが作成され、取り込んだ曲はそのフォルダ内に保存されます。アーティスト名を持たない場合は、「アーティスト情報なし」フォルダが作成され、そのフォルダ内に保存されます。

音楽配信サイトからの音楽購入について

本機は、音楽配信サイトから購入して、ダウンロードした曲ファイルを取り込んで聞くことができます。

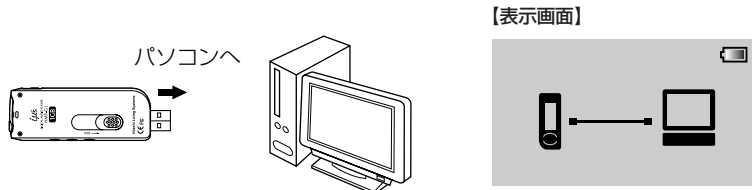
- 音楽配信サイトからの購入方法やダウンロードのしかたなどについては、音楽配信サイトの情報をご覧ください。
- ダウンロードした曲ファイルが本機で再生できるかどうかについては「再生できるファイル形式を確認する」をご確認ください。(→P.27)

パソコンに接続して曲ファイルを取り込む

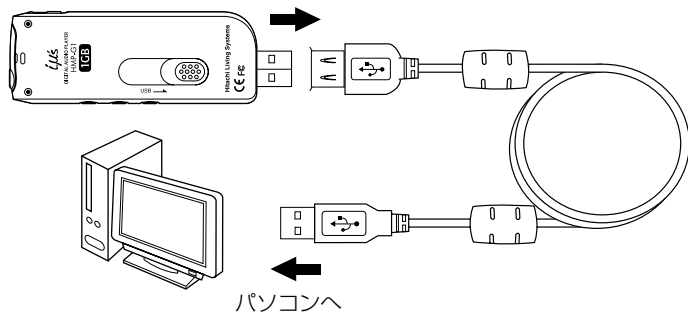
- 1 USBコネクタスライダーを軽く押しながら矢印方向へスライドさせてUSBコネクタを出し、USBコネクタカバーを取り外します。

- 2 パソコンの電源を入れ、本機の電源をオンにし、差し込む向きに注意してUSBコネクタを接続します。

パソコンに接続すると図のように表示され同時に充電を開始します。

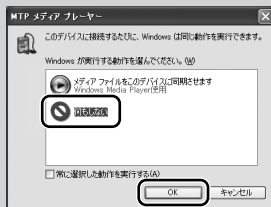


付属の専用USB延長ケーブルを図のように接続して使用することもできます。差し込む向きにご注意ください。



注意

- Windows XPをご使用の場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない]を選び、[OK]をクリックします。



3 「マイコンピュータ」を開き、「HMP-G1」が表示されていることを確認します。

Windows Media Player 10のバージョンがインストールされている場合は、オーディオデバイス(MTPメディアプレーヤー)として表示されます。

Windows Media Player 9以下のバージョンがインストールされている場合は、「リムーバブルディスク」として表示されます。

「HMP-G1」または「リムーバブルディスク」が表示されていない場合は、「パソコンコントロールシューティング」(→P.62～65)をご覧ください。



WMP10の場合



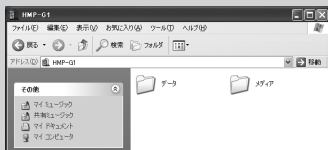
リムーバブル ディスク (E:)

WMP9以下の場合



ちょっとこれを!

- Windows Media Player 10をインストールしている場合は、「HMP-G1」内に「データ」フォルダと「メディア」フォルダが自動的に作成されます。曲・音声ファイルは自動的に「メディア」フォルダに保存されます。データフォルダ内の曲・音声ファイルは再生されません。



4 Windows Media Player 10を起動して、「同期」ボタンをクリックします。



「同期」ボタン

5 転送したい曲をメニューから選択します。

チェックボックスにチェックが入っていることを確認します。(個別に選ぶことができます。)

6 デバイスの項目で「HMP-G1」または本機に該当するリムーバブルディスクを選択します。

7 「同期の開始」をクリックして、転送を開始します。

転送を開始すると状態が「転送しています」と表示されます。
転送が終了すると「デバイスへ同期済み」に変わります。

注意

- 曲ファイルを本機に取り込み中は、パソコンから取り外さないでください。保存されている曲ファイルや記録されているデータなどが破損する原因になります。
- パソコンと接続中は、本機のボタン操作は無効になります。
- ファイル数やフォルダ数が制限数を超えると、「ファイル制限!」というメッセージが表示されます。

ファイルとフォルダの制限数

ファイル制限数: 380ファイル

フォルダ制限数: 150フォルダ

パソコンから取り外す

本機をパソコンから取り外すときは、以下の手順で行ってください。

注意

- 正しい取り外し方をしないと、本機やパソコン、保存されている曲ファイルや記録されているデータが破損する原因になります。必ず正しい取り外し方でUSBケーブルを取り外してください。

-
- 1 本機を利用しているすべてのアプリケーションを終了します。
 - 2 Windows Media Player 10をご使用の場合はオーディオデバイス(MTPメディアプレーヤー)として認識されているので、そのまま取り外します。



ちょっとこれを!

- リムーバブルディスクとして認識されている場合 (Windows Media Player 9 以下のバージョン) は、次の手順で取り外します。

- (1) デスクトップの右下にある「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックします。

Windows XP の場合



USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E) を安全に取り外します

Windows 2000 の場合



USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E) を停止します

Windows Me の場合



USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E) の停止

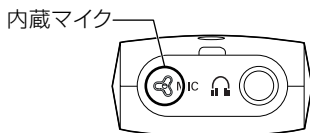
- (2) 本機に該当するドライブを選んで、「USB 大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します」をクリックします。

複数表示される場合は、本機に該当する項目をクリックしてください。本機の表示は、「マイコンピュータ」などで確認してください。

- (3) 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。(Windows XP では [OK] のクリックは不要です。)
- (4) 本機を取り外します。

マイクから音声を録音する(ボイスレコーダー機能)

本機の内蔵マイクを使用して録音できます。



注意

- 大切な録音を行う前に、必ず試し録音をして、正常に録音ができることを事前に確認してください。

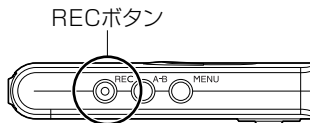
1 停止状態で、RECボタンを押します。

音声録音が始まり、録音画面が表示されます。

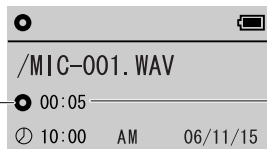
録音を開始すると、新しいファイルが自動で作成されます。

録音されたファイルは、自動で作成された「VOICE」フォルダの中に保存され、ファイル名は「MIC-001.WAV」から順に自動で付けられます。

【本体】



【表示画面】



現在の状態

(録音中 ● / 一時停止 || / 停止 ■)

2 録音を終了する場合は、RECボタンを押します。

表示画面に「保存しました」と表示され、録音する前の画面に戻ります。

録音を一時停止する場合は、電源／再生／一時停止(▶||)ボタンを押します。

一時停止した録音を再開する場合は、電源／再生／一時停止(▶||)ボタンを押します。



ちょっとこれを!

- 内蔵マイクは無指向性のため、周囲の環境によって雑音が入ることがあります。
- 録音中にメモリ容量がいっぱいになると、「メモリフル!」という警告が表示され録音を終了します。

内蔵マイク録音時のファイル形式／録音可能時間

録音ファイル形式: WAV

ビットレート: 8kbps

チャンネル: モノラル

最大録音可能時間: 約70時間

再生する


ルートメニューについて


MENUボタンを長押しすると、ルートメニュー(フォルダビュー／音楽／ボイス)が表示されます。

ルートメニューでは◀◀または▶▶を使用して、本機の再生モードを、フォルダ再生モード／曲ファイル再生モード／音声ファイル再生モードに切り替えることができます。

【表示画面】




 : フォルダを選択して再生します。

 : 曲ファイルをすべて再生します。

 : 録音した音声ファイルを再生します。

フォルダ再生モード

本機内に保存された曲／音声ファイルをフォルダ単位で選択して再生できるモードです。このモードを選択すると画面左上にが表示されます。

フォルダ内のファイルを選択し、再生／削除することもできます。

【表示画面】



+または-ボタンでフォルダを選択し、電源/再生/一時停止ボタン(▶||)を押すとフォルダ単位で再生できます。

+または-ボタンで選択したフォルダで、進む(▶▶)ボタンを押すとフォルダ内のファイルを選択できます。(戻る(◀◀)ボタンで一つ上の階層にもどります)

ファイルを選択した状態で、電源/再生/一時停止ボタン(▶||)を押すとそのファイルを再生/消去することができます。

曲ファイル再生モード

通常の再生モードです。このモードを選択すると画面左上に🎵が表示されます。

【表示画面】

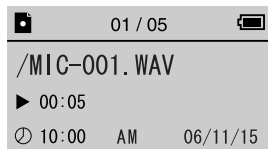


音声ファイル再生モード

内蔵マイクで録音された音声ファイルのみを再生するモードです。このモードを選択すると画面左上に🎤が表示されます。

このモードでも、RECボタンを押すことで音声を録音することができます。

【表示画面】

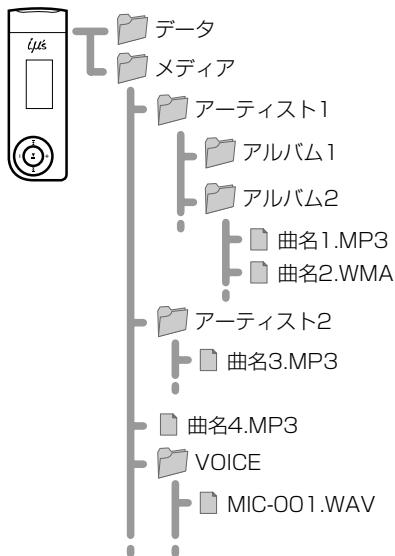


フォルダ構造について

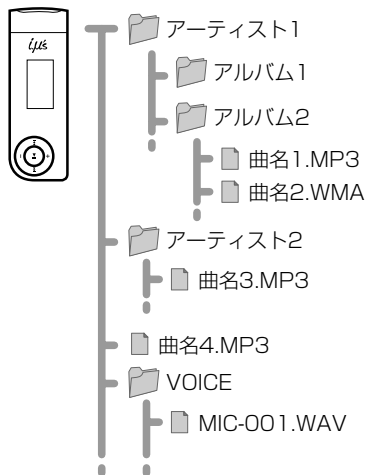
パソコンの操作で、本機のメモリの中に多階層のフォルダを作成して管理できます。

【フォルダを作成したときのメモリ内のイメージ】

• Windows Media Player10の場合



• Windows Media Player9以下の場合





ちょっとこれを!

- Windows Media Player 9以下のバージョンがインストールされている場合は、「メディア」フォルダおよび「データ」フォルダは作成されません。
- 「VOICE」フォルダは、内蔵マイクからの録音時に自動で作成されます。
- 本機に収録されている曲の中から、好きな曲、よく聞く曲などをアーティスト／アルバムなどごとにフォルダを作成しておく、再生時に選択しやすく便利です。
- 曲／音声ファイルを「データ」フォルダに保存しても認識されません。
- 本機で取り扱い可能なフォルダ数、フォルダ階層数、ファイル数の制限数は、以下の通りです。

フォルダ制限数: 150フォルダ

フォルダ階層制限数: 19階層

ファイル制限数: 380ファイル

曲／音声ファイルを再生する

再生／一時停止／停止する

現在の状態は、表示画面にアイコン(▶、||、■)で表示されます。

再生(▶)する

一時停止(||)または停止(■)中に、電源／再生／一時停止(▶||)ボタンを押します。

【表示画面】



一時停止(||)する

再生(▶)中に、電源／再生／一時停止(▶||)ボタンを押します。

【表示画面】



注意

- 電源／再生／一時停止(▶||)ボタンを押し続けると、電源がオフになります。

停止(■)する

一時停止(⏸)中に、戻る(⏮)または進む(⏭)ボタンを押します。

【表示画面】



停止中／再生中のボタン操作

停止中／再生中に本機を操作すると以下のように動作します。

ボタン	操作	本機の状態	
		停止中	再生中
電源／再生／ 一時停止ボタン	押す	再生	一時停止
	長く押す	電源オフ	電源オフ
操作ボタン	進む(⏭)ボタンを押す	次の曲のファイル名を表示する	次の曲の先頭に移る
	進む(⏭)ボタンを長く押す	早くファイル送り	早送り
	戻る(⏮)ボタンを押す	前の曲のファイル名を表示する	曲の先頭に戻る
	戻る(⏮)ボタンを長く押す	早くファイル戻し	早戻し
	+ボタンを押す	音量上げる	
	+ボタンを長く押す	早く音量上げる	
	-ボタンを押す	音量下げる	
-ボタンを長く押す	早く音量下げる		
RECボタン	押す	録音開始 [*]	—
A-Bリピート ボタン	押す	—	ポイントA・ポイントBの設定 ／A-Bリピート再生の解除

※ 停止中にRECボタンを押すと、ボイスレコーダー機能がはたらき、録音を開始します。

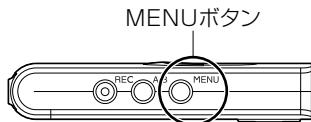
繰り返し/シャッフル再生する

お気に入りの曲ファイルを繰り返し再生したり、シャッフル再生することができます。

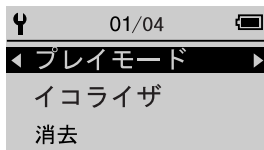
1 MENUボタンを押します。

設定メニュー画面が表示されます。

【本体】



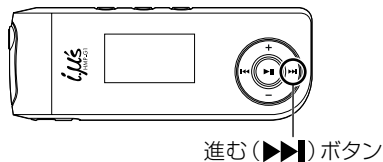
【表示画面】



2 「プレイモード」を選び、進む(▶▶)ボタンを押します。

選択できる「プレイモード」(8種類)が表示されます。

【本体】



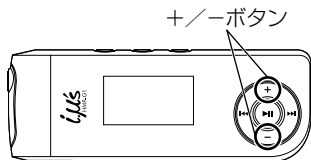
【表示画面】



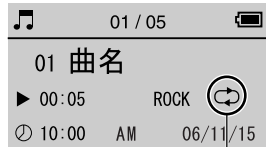
3 +または-ボタンで設定したいプレイモードを選び、進む(▶▶)ボタンを押して決定します。

表示画面に選択した設定のアイコンが表示されます。(「オフ」を選択した場合は表示されません。)

【本体】



【表示画面】



プレイモードアイコン

・ オフ:

曲・音声ファイルを1回再生します。

(VOICEフォルダ内の音声ファイルは再生されません。)

・ 1曲リピート: 1-↺

1つの曲ファイルのみを繰り返し再生します。

・ リピートオール: ↺

すべての曲ファイルを繰り返し再生します。

・ シャッフル: ✂

すべての曲ファイルをシャッフルして1回再生します。

・ シャッフル&リピート: ↺✂

すべての曲ファイルをシャッフルして繰り返し再生します。

・ リピートフォルダ: ↺

同じフォルダ内の曲／音声ファイルを繰り返し再生します。

・ シャッフルフォルダ: ✂

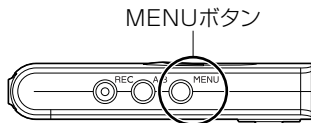
同じフォルダ内の曲／音声ファイルをシャッフルして1回再生します。

音質を変更する(EQ(イコライザ)の設定)

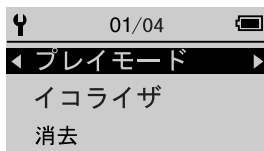
好みの音質を選んで再生できます。

- 1 MENUボタンを押します。
設定メニュー画面が表示されます。

【本体】

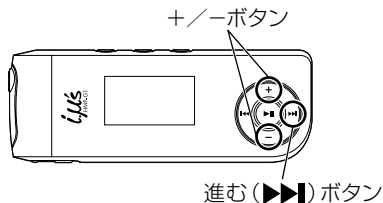


【表示画面】



- 2 +または-ボタンで「イコライザ」を選び、進む(▶▶)ボタンを押します。

【本体】



【表示画面】

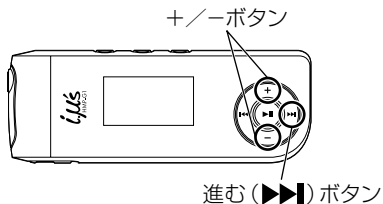


3 +または-ボタンで設定したい項目を選び、進む(▶▶)ボタンで決定します。

選択できるイコライザ設定(8種類)は、以下の通りです。

ロック/ファンク/ジャズ/クラシック/ヒップホップ/ダンス/カスタム*/オフ

【本体】



【表示画面】



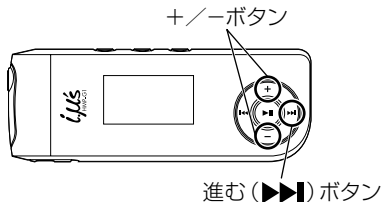
ロックに設定した場合

表示画面に、選択した設定のアイコンが表示されます。

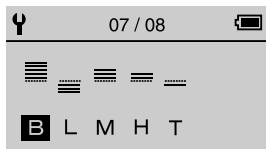
(「オフ」選択時は表示されません。)

* カスタムを選択すると、「B(Bass)・L(Low)・M(Middle)・H(High)・T(Treble)」の音域のレベルを+/-ボタンと進む(▶▶)ボタンを使用して個別に設定できます。

【本体】



【表示画面】



曲の一部を繰り返し再生する(A-Bリピート機能)

本機は、曲の一部を繰り返し再生することができます。開始位置(ポイントA)と終了位置(ポイントB)を設定すると、その区間を繰り返し再生します。

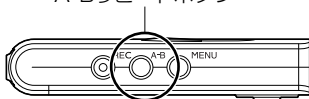
1 曲/音声ファイルを再生中に、A-Bリピートボタンを押します。

(ポイントAが設定されます。)

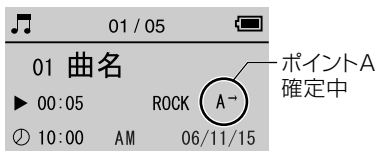
表示画面に **A↷** が表示されます。

【本体】

A-Bリピートボタン



【表示画面】



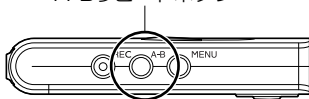
2 もう一度、A-Bリピートボタンを押します。

(ポイントBが設定されて、繰り返し再生を開始します。)

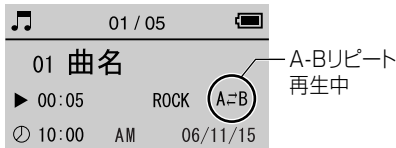
表示画面に **A=B** が表示されます。

【本体】

A-Bリピートボタン



【表示画面】



3 繰り返し再生を解除する場合は、A-Bリピートボタンを押します。

表示画面の **A=B** 表示が消え、設定したポイントAおよびBは解除されます。

各種設定

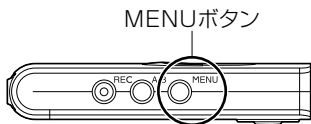
各種設定を変更する

以下の操作で各種設定を変更したり、確認したりすることができます。

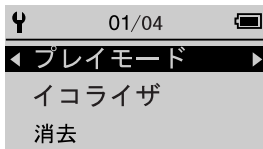
1 MENUボタンを押します。

設定メニュー画面が表示されます。

【本体】



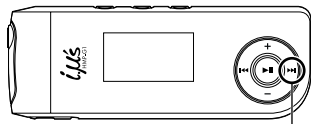
【表示画面】



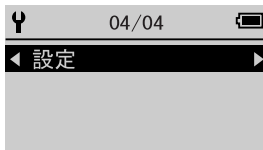
2 +または-ボタンで「設定」を選び、進む(▶▶)ボタンを押します。

設定／確認できる項目(11種類)が表示されます。(→P.52~56)

【本体】



【表示画面】



進む(▶▶)ボタン

3 +または-ボタンで設定する内容を選び、進む(▶▶)ボタンを押します。
各メニューの設定内容が表示されます。

4 +または-ボタンで設定する項目を選び、進む(▶▶)ボタンを押します。
設定した内容を保持し、メニューに戻ります。(戻る(◀◀)ボタンで一つ上の階層に戻ります。)

メニュー項目と設定内容

設定を変更する操作方法は「各種設定を変更する」(→P.51)をご覧ください。

■はお買い上げ時の設定(初期値)です。

省電力設定

バッテリーを長持ちさせるための設定をします。(一定の時間が経過すると表示画面が暗くなります。)

オン：省電力設定をオンにします。

オフ：省電力設定をオフにします。

スクリーンセーバー

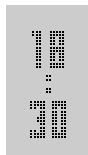
スクリーンセーバーを、時計横表示／時計縦表示／アニメーションの中から選択します。再生(▶)、一時停止(⏸)または停止(■)状態が一定時間経過すると、時刻やアニメーションを表示します。

ディスプレイ

時計横表示 : 時刻を横に表示します。



時計縦表示 : 時刻を縦に表示します。



アニメーション : アニメーションを表示します。



タイム

60秒 : 60秒後にスクリーンセーバーを表示します。

30秒 : 30秒後にスクリーンセーバーを表示します。

10秒 : 10秒後にスクリーンセーバーを表示します。

オフ : スクリーンセーバーを表示しません。

オートパワーオフ

オートパワーオフの時間を設定します。

一時停止(■)または停止(■)状態が一定時間経過すると、自動で電源がオフになります。

- 3分 : 3分間操作しないと電源をオフにします。
- 5分 : 5分間操作しないと電源をオフにします。
- 10分 : 10分間操作しないと電源をオフにします。
- 30分 : 30分間操作しないと電源をオフにします。
- オフ : オートパワーオフ機能を使用しません。

スクロールスピード

表示される曲情報のスクロール速度を選択します。

速い

標準

遅い

オフ: スクロールしません。

スリープタイマー

スリープタイマーの設定をします。

設定時間が経つと、自動で電源が切れる機能です。

スリープタイマーは、電源が切れると「オフ」の設定に戻ります。

- 15分 : 15分後に電源をオフにします。
- 30分 : 30分後に電源をオフにします。
- 45分 : 45分後に電源をオフにします。
- 60分 : 60分後に電源をオフにします。
- オフ : スリープタイマー機能を使用しません。

リジューム

電源をオンにしたとき、電源をオフにする前に再生していた曲／音声ファイルを呼び出して再生する機能です。

オン : リジューム機能をオンにします。

オフ : リジューム機能をオフにします。

日付／時刻合わせ

本機の日付けと時刻を設定します。

ID3タグ言語

ID3タグを表示する言語を選択します。

日本語 : 日本語(漢字、カタカナ、ひらがな、英数字)で表示します。

English : 英語で表示します。

简体中文 : 簡体字で表示します。

繁體中文 : 繁体字で表示します。

한국어 : ハングルで表示します。

メニュー言語

メニューを表示する言語を選択します。

英語 : 英語で表示します。

日本語 : 日本語(漢字、カタカナ、ひらがな、英数字)で表示します。

システム情報

本機のバージョン情報とメモリ容量／残量を表示します。(電源／再生／一時停止(▶||)ボタンで一つ上の階層に戻ります。)

初期設定に戻る

すべての設定をお買い上げ時の設定(初期値)に戻す場合に選択します。

消去する

曲／音声ファイルを消去する

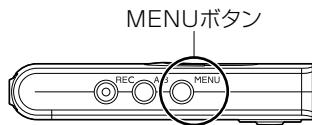
注意

- 一度消去してしまったファイルは二度と元に戻すことはできません。消去するときは、本当に不要なファイルかをよく確かめてください。

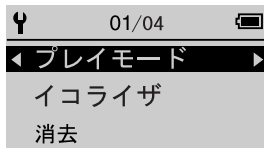
1 消去したい曲／音声ファイルを表示させます。

2 MENUボタンを押します。
設定メニュー画面が表示されます。

【本体】

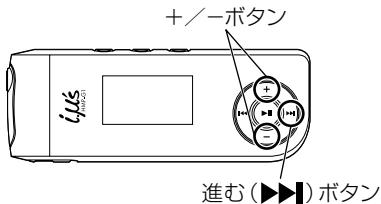


【表示画面】



- 3** +または-ボタンで「消去」を選び、進む(▶▶)ボタンを押します。
表示画面に「消去しますか?」と表示されます。

【本体】



【表示画面】



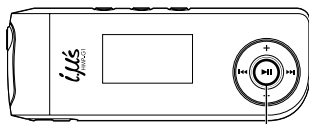
注意

- この時点ではまだ消去されていません。

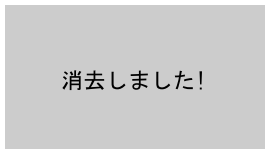
- 4** 電源/再生/一時停止(▶||)ボタンを押すと、選んだ曲/音声ファイルを消去します。

表示画面に「消去しました!」と表示されます。

【本体】



【表示画面】



電源/再生/一時停止(▶||)ボタン

フォーマット(初期化)する

フォーマット(初期化)とは、内蔵メモリに曲／音声ファイルおよびデータを記録できるようにする作業です。

本機の内蔵メモリのフォーマットは、本機の操作ではできません。

以下の手順でパソコンと接続してからフォーマット(初期化)してください。

注意

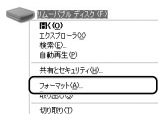
- フォーマット(初期化)すると、内蔵メモリ内のデータはすべて消去されますので、内容をよく確かめてから操作してください。
一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。

1 P.32の手順1に従って、本機とパソコンを接続します。

2 「マイコンピュータ」を開き、本機に該当する「オーディオデバイス」または「リムーバブルディスク」を右クリックし、「形式」または「フォーマット」をクリックします。



WMP10の場合



WMP9以下のバージョンの場合

注意

- フォーマットの対象が本機であることを確認してから実行してください。誤って他のドライブをフォーマットするとパソコン上の大切なデータやファイルを消去することになりますのでご注意ください。

- 3** 「ファイルシステム」から「FAT16」(FAT)を選び、「開始」ボタンをクリックします。



注意

- 「FAT16(FAT)」以外は選ばないでください。

- 4** フォーマットが終了したら、「閉じる」ボタンをクリックします。

- 5** 終了したら、P.36~37の手順に従って本機をパソコンから取り外します。



ちょっとこれを!

- オーディオデバイスの場合は、フォーマットしても「データ」、「メディア」フォルダが自動生成されます。

用語解説

MP3(MPEG-1 Audio Layer3)

ISO(国際標準化機構)のワーキンググループであるMPEGが制定した国際規格です。この圧縮方式では、約1/10の圧縮率が得られます。

WMA(Windows Media Audio)

マイクロソフト社が開発した音声圧縮方式、及びそれを使用したオーディオファイルです。この圧縮方式では、約1/20の圧縮率が得られます。

WAV

Windowsの標準的な音声ファイルです。

ID3タグ

MP3ファイルが持っているアーティスト名や曲名、CDアルバム名などの曲情報で、デジタルオーディオプレーヤーで再生するときに表示するための規格です。

ビットレート

1秒間に転送されるデータ量の単位で、単位はbps(bit per second)。数値が多きほど音質は良くなりますが、CDとほぼ同等の音質と言われているビットレートは、MP3では128kbps、WMAでは64kbpsです。

DRM(Digital Rights Management)

デジタル著作権管理。インターネットを通じて音楽や映像を配信する際に、違法なコピーを防止するために使われます。コンテンツとともに再生のためのライセンスを配布するため、ライセンスのない別のパソコンでは再生できず、デジタルプレーヤーもDRMに対応していない機器では再生できません。

MTP(Media Transfer Protocol)

USBの通信規格で、USB上で音楽や映像などのコンテンツを転送するためのプロトコルで、Windows Media Player10には標準で含まれています。

パソコントラブルシューティング

HMP-G1をパソコンに接続しても「パソコンに認識できない」場合など、パソコンとの接続でお困りの場合は、以下の手順でご確認ください。

1 最初に、パソコンとHMP-G1のUSB端子にUSBケーブルの端子が奥までしっかり装着されていることをご確認ください。

2 パソコンのオペレーティングシステム(OS)は何ですか？

Windows 98/98SE→

HMP-G1はWindows98SE以前のOSのサポートはいたしていません。

Windows ME/2000/XP→

3へ進んでください。

Windows Vista→

未発売のOSのサポートはいたしていません。

3 Windows Media PlayerのVersionは何ですか？

Windows Media Player 9以前→ **4**へ進んでください。

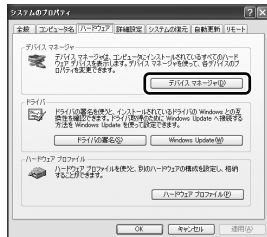
Windows Media Player 10→ **5**へ進んでください。

4 以下の手順でパソコンにHMP-G1が認識されているか確認してください。 (Windows Media Player 9以前)

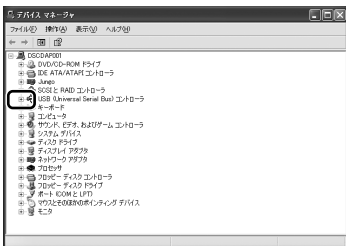
- (1) 「スタート」をクリックし、「マイコンピュータ」にポインタを合わせ、右クリックして、「プロパティ」を選択します。
「プロパティ」が表示されない→ **8**へ進んでください。



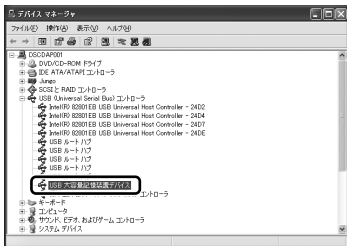
- (2) 「システムのプロパティ」が開きます。
「システムのプロパティ」上段の「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。



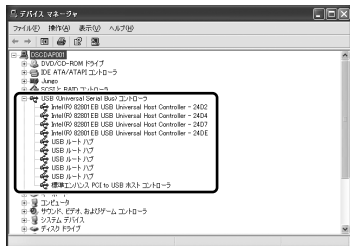
- (3) 「デバイスマネージャ」が開きます。
「デバイスマネージャ」の中の「USB」(Universal Serial Bus)コントローラの左側の「+」をクリックします。



- (4) 「USB」(Universal Serial Bus)コントローラの詳細が表示されます。
「USB」(Universal Serial Bus)コントローラの中に「USB大容量記憶装置デバイス」が表示されているかを確認します。
「USB大容量記憶装置デバイス」が表示されている→ **6**へ進んでください。
「USB大容量記憶装置デバイス」が表示されていない→ **10**へ進んでください。



「USB大容量記憶装置デバイス」が表示されている



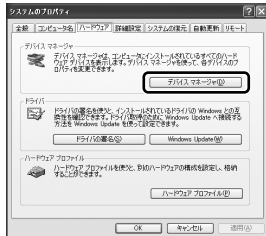
「USB大容量記憶装置デバイス」が表示されていない

5 次の手順で、パソコンにHMP-G1が認識されているか確認してください。 (Windows Media Player 10)

- (1) 「スタート」をクリックし、「マイコンピュータ」にポインタを合わせ、右クリックして、「プロパティ」を選択します。
「プロパティ」が表示されない→ **8**へ進んでください。



- (2) 「システムのプロパティ」が開きます。
「システムのプロパティ」上段の「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

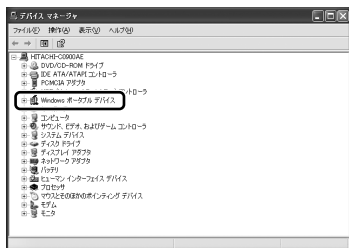


(3) 「デバイスマネージャ」が開きます。

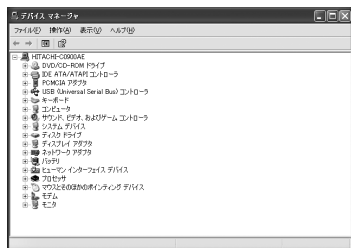
「デバイスマネージャ」の中「Windows ポータブル デバイス」が表示されているかを確認します。

「Windows ポータブル デバイス」が表示されている→ **6**へ進んでください。

「Windows ポータブル デバイス」が表示されていない→ **10**へ進んでください。



「Windows ポータブル デバイス」が表示されている



「Windows ポータブル デバイス」が表示されていない

6 他のパソコンに接続した場合、HMP-G1はパソコンに認識されますか？

はい→ **7**へ進んでください。

いいえ→ **10**へ進んでください。

7 HMP-G1が認識されないパソコンに再度接続して認識できますか？

はい→ **11**へ進んでください。

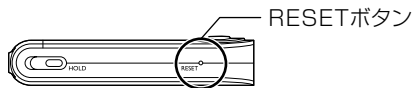
いいえ→ **9**へ進んでください。

- 8** 「マイコンピュータ」の「プロパティ」が表示されない。
- パソコンの管理者による制限が施されている可能性があります。パソコンの管理者に確認してください。
- 9** 「デバイスマネージャ」の中に「USB大容量記憶装置デバイス」または、「Windows ポータブル デバイス」が表示されているが、「マイコンピュータ」などに表示されない。
- パソコンのシステムまたは、パソコンのソフトウェア等に起因している可能性があります。パソコンの管理者または、パソコンメーカー様にご確認ください。
- 10** 「デバイスマネージャ」の中に「USB大容量記憶装置デバイス」または、「Windows ポータブル デバイス」が表示されていない。
- HMP-G1またはUSBケーブルの破損が考えられます。ご購入店へお持ちください。
- パソコンのUSB端子または、システム上の問題も考えられます。詳しくは、パソコンメーカー様などにご確認ください。
- 11** HMP-G1をパソコンに再接続したら正常に認識できた。
- パソコンへのUSB接続時の通信に失敗したことによる要因が考えられます。数回、接続確認をしていただき、パソコンに認識されるようでしたら、そのまま、ご使用いただいて問題ございません。

故障とお考えになる前に

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しなくなった場合は、クリップなどの細い棒で、本機のRESETボタンを押して再度電源をオンにしてください。



バッテリー・電源

症状	主な原因	処置
電源がオンにならない	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電します。P.14～17
	内部システムなどの誤動作	RESETボタンを押してから、再度電源をオンにします。
	ホールド状態になっている	HOLDスイッチを操作し、ホールド状態を解除してから、再度電源をオンにします。P.25
バッテリーの消耗が早い	温度が極端に低い環境で使用している	使用環境をご確認ください。P.9
	規定充電回数を越えている	バッテリーの寿命と考えられます。P.14
電源が途中でオフになる	オートパワーオフがはたらいた	もう一度電源をオンにします。 オートオフ時間の設定を変更します。 P.54
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電します。P.14～17
	温度が極端に低い環境で使用している	使用環境をご確認ください。P.9
バッテリーの残量表示が正しく表示されない	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電します。P.14～17

パソコンと接続する

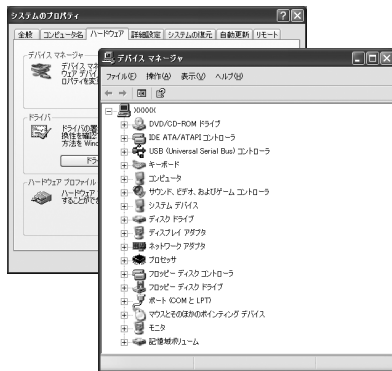
パソコントラブルシューティングもあわせてご参照ください。(→P.62)

症状	主な原因	処置
本機がパソコンに認識されない。 ([リムーバブルディスク]が表示されないなど)	本機を電源オフでパソコンに接続した	本機の電源をオンにしてからパソコンに接続します。P.32
	USBハブなどを使用している	USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続します。
	USBケーブルが正しく接続されていない	パソコンと本機からケーブルを抜いてもう一度しっかり接続します。
	パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている	キーボード/マウス以外は取り外します。
	本機の動作を妨げている他のドライバまたはデジタルオーディオプレーヤーがある	[デバイスマネージャ]を開き、[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]を確認します。 [USB大容量記憶装置デバイス]に黄色い[!]マークが付いているときは、[USB大容量記憶装置デバイス]を削除してから、本機を取り外し、もう一度接続し直します。
	パソコンのUSB機能が有効になっていない	[デバイスマネージャ]を開き、[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]を確認します。 [USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]が表示されていないときは、USB機能が無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照の上、有効に設定を変更します。

症状	主な原因	処置
本機がパソコンに認識されない。 ([リムーバブルディスク]が表示されないなど)	USBケーブルが正しく接続されていない	[USB (ユニバーサルシリアルバス) コントローラ]に黄色い[!]や赤い[X]マークが付いているときは、USB機能は動作しません。 詳しくはパソコンの取扱説明書を参照の上、有効に設定を変更してください。 パソコンと本機からケーブルを抜いてもう一度しっかり接続します。

デバイスマネージャ

「デバイスマネージャ」は、「マイコンピュータ」から右クリックで「プロパティ」を選ぶか、「コントロールパネル」から「システム」をダブルクリックして、「システムのプロパティ」から開きます。



症状	主な原因	処置
パソコンから曲ファイルを本機に転送できない	本機のメモリ残量が不足している	ファイルデータ使用量を確認して、不要なファイルを消去します。
	転送するファイル数が多すぎる	本機に転送できるファイル数は380ファイルです。それを超えると転送できません。
	再生期間やコピー回数などの制限のついた曲を転送している	再生期間やコピー回数などの制限のついた曲は、著作権の意向によって、転送できないことがあります。それぞれ曲に関する内容については、配信者にお尋ねください。

録音

症状	主な原因	処置
マイク録音できない	本機のメモリ残量が不足している	ファイルデータ使用量を確認して、不要なファイルを消去します。

再生

症状	主な原因	処置
本機で文字が正しく表示されない	ID3タグ情報の言語設定が正しくない	正しいID3タグ情報言語設定にします。P.55
	表示できない文字が含まれている	フォントデータの制限により表示できない文字があります。
ボタンを押しても反応がない	ホールド状態になっている	HOLDスイッチを操作し、ホールド状態を解除してから、再度操作します。
	パソコンと本機をUSBケーブルで接続している	パソコンと本機を接続している間は、操作できません。USBケーブルを取り外してから、操作します。
	バッテリーが消耗している 結露している	バッテリーを充電します。P.14~17 そのまま2~3時間置いてからご使用ください。
音声がかえらない	音量が最小「0」になっている	+ボタンを押して音量を上げます。
	イヤホン端子に正しく差し込まれていない	イヤホンのプラグを正しく差し込みます。
	イヤホンのプラグが汚れている	乾いた布でプラグの汚れを拭き取ります。

症状	主な原因	処置
音声が聞こえない	ファイルが入っていない	「ファイルがありません!」と表示されるときは曲ファイルを取り込む、または録音します。P.27
	ファイル形式がMP3/WMA/WAVではない	パソコン上でファイル形式を確認してください。本機はMP3/WMA/WAV形式以外の曲/音声ファイルの再生はできません。
音声が割れる/雑音が入る	MP3/WMAファイル形式のビットレート設定値が低い	録音するときに、MP3/WMAのビットレートの設定値を高くします。
	イヤホン端子に正しく差し込まれていない	イヤホンのプラグを正しく差し込みます。
	イヤホンのプラグが汚れている	乾いた布でプラグの汚れを拭き取ります。
メニューの表示言語が英語になっている	「メニュー言語」が「English」になっている	「メニュー言語」を「日本語」に切り替えます。P.55

警告表示

表示	主な原因	処置
ノーファイル!	再生できるファイルが入っていない	再生できるファイルを本機に転送します。
ファイル制限!	転送するファイル数が多すぎる	本機に転送できるファイル数は380ファイルです。それを超えると転送できません。
メモリフル!	本機のメモリ残量が不足している	ファイルデータ使用量を確認して、不要なファイルを消去します。
ライセンス確認!	再生期間やコピー回数などの制限のついた曲を転送している	再生期間やコピー回数などの制限のついた曲は、著作権の意向によって、転送できないことがあります。それぞれの曲に関する内容については、配信者にお尋ねください。

仕様

モデル名	HMP-G1	
記録メディア	内蔵1GBフラッシュメモリ	
ディスプレイ	4行表示2色有機EL(128×64ドット)	
表示言語(メニュー)	日本語&英語	
音楽再生	再生ファイル形式[ビットレート]	MP3 [32~320kbps] /WMA [32~192kbps]
	可変ビットレート (VBR)	○
	デジタル著作権管理 (DRM)	DRM9/10 (WMA形式)
	ID3タグ[バージョン]	○ [Ver.1 /Ver.2]
ボイスレコーダー	録音ファイル形式	WAV (ADPCM方式、モノラル)
	最大録音時間	約70時間
オーディオ	周波数特性	20Hz~20,000Hz
	S/N比	85dB
	イヤホン出力	5.0mW×2
	イコライザ	ロック/ファンク/ジャズ/クラシック/ヒップホップ/ダンス/カスタマイズ
	プレイモード	1曲リピート/リピートオール/シャッフル/シャッフル&リピート &リピートフォルダ/シャッフルフォルダ
入出力端子	USB端子	USB 1.1/USB2.0
	イヤホン端子	3.5mmφミニ
対応OS*1&*2	Microsoft Windows Me/2000/XP	
電源	内蔵リチウムポリマー充電電池	
充電時間	2時間	
バッテリー持続時間*3	12時間	

外形寸法(突起部含む)	幅29.8×奥行14.3×高さ80.7mm
質量(内蔵バッテリー含む、付属品除く)	約36g
使用条件	0℃～40℃、湿度95%以下(結露しないこと)
付属品	専用USB延長ケーブル、イヤホン、ネックストラップ、ポーチ、取扱説明書(本書:保証書付)

- ※1 USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証できません。
- ※2 自作パソコンや、個人でアップグレードされた場合の動作は保証できません。
- ※3 バッテリー持続時間は、フル充電、MP3ファイル(128kbps)、音量中央、省電力モードに設定した場合。上記の時間はあくまでも目安であり、保証するものではありません。
- ※4 内蔵のフラッシュメモリは一部プログラムファイルが格納されているため、記録可能領域は約930MBになります。

メニューリスト

第一階層	第二階層	第三階層	説明
プレイモード (再生する曲 のプレイモード を選択します)	オフ	—	曲ファイル順に再生します。
	1曲リピート	—	1曲のみを繰り返し再生します。
	リピートオール	—	すべての曲ファイルを繰り返し再生します。
	シャッフル	—	すべての曲ファイルをシャッフル再生します。
	シャッフル&リピート	—	すべての曲ファイルを繰り返しシャッフル再生します。
	リピートフォルダ	—	同じフォルダ内の曲を繰り返し再生します。
	シャッフルフォルダ	—	同じフォルダ内の曲をシャッフル再生します。
イコライザ (再生する曲 の音質を選択 します)	ロック	—	それぞれの曲のジャンルに合わせた音質で再生します。
	ファンク	—	
	ジャズ	—	
	クラシック	—	
	ヒップホップ	—	
	ダンス	—	
	カスタム	BLMTH	低音域から高音域まで5段階の音域を調節できます。
	オフ	—	
消去 (再生中の曲 を消去します)	消去しますか?	—	再生中の曲ファイルを消去します。

第一階層	第二階層	第三階層	説明
設定 (本機の機能を設定します)	省電力設定	オン	バッテリーを長持ちさせるための設定を選択します。
		オフ	
	スクリーンセーバー	ディスプレイ	スクリーンセーバー表示をとして、時計横表示/時計縦表示/アニメーションの中から選択します。
		タイム	スクリーンセーバー表示するまでの時間を選択します。
	オートパワーオフ	3分	何も操作しない状態で自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。
		5分	
		10分	
		30分	
		オフ	
	スクロールスピード	速い	表示される曲情報のスクロールする速さを選択します。
		標準	
		遅い	
		オフ	
	スリープタイマー	15分	再生中でも設定した時間が過ぎると自動的に電源がオフになるスリープタイマー時間を設定します。
		30分	
		45分	
		60分	
オフ			
リジューム	オン	電源をオフにする前に再生していた曲ファイルを再度電源をオンにしたときに再生する機能を選択します。	
	オフ		
日付/時刻合わせ	年/月/日/タイム/時/分	本機の日付と時刻を設定します。	

第一階層	第二階層	第三階層	説明
設定 (本機の機能を設定します)	ID3タグ言語	日本語	ID3タグの表示言語を選択します。
		English	
		簡体中文	
		繁體中文	
	メニュー言語	한국어	
		English	本機の表示言語を選択します。
		日本語	
	システム情報	情報表示	本機のバージョン情報とメモリ容量／残量を表示します。
	初期設定に戻る	はい	すべての設定をお買い上げ時の設定にします。
		いいえ	

索引

記号・英数字

+または-ボタン	26
1曲リピート	47
A-Bリピート	10
A-Bリピート機能	50
A-Bリピートボタン	12, 45
DRM	61
HOLD(ホールド)スイッチ	12
HOLDスイッチ	25
ID3タグ	10, 27, 61
ID3タグ情報言語	72
MENU(メニュー)ボタン	12
MP3	10, 27, 28, 61
REC(録音)ボタン	12
RECボタン	38, 45
RESET(リセット)ボタン	12
RESETボタン	68
USBコネクタ	12, 15, 32
USBコネクタカバー	12, 15, 32
USBコネクタスライダー	12, 15, 32
USB接続	15
WAV	10, 27, 61
Windows Media Player 10	30
WMA	10, 27, 28, 61

ア行

アーティスト名	27
アニメーション	53
イコライザ	10, 48
一時停止	44
イヤホン	19
イヤホン端子	12, 19
オーディオデバイス	33
オートパワーオフ	54
お客様ご相談窓口	82
お手入れ	9
音質	48
音量	26

カ行

各種設定	51
カスタム	49
曲/音声ファイル	44
曲名	27
繰り返し再生	46

サ行

再生	40, 44
再生モード	13
システム情報	56
シャッフル	47
シャッフル&リピート	47
シャッフル再生	46
シャッフルフォルダ	47
充電	15
仕様	75
使用環境	9
消去	57
省電力設定	52
初期設定	56
スクリーンセーバー	53
スクロールスピード	54
進む(▶▶▶)ボタン	45
ストラップ	20
ストラップ通し穴	12, 20
スリープタイマー	54
操作ボタン	12, 45

タ行

著作権	8
停止	45
デバイスマネージャ	70
電源	21
電源/再生/一時停止(▶▶▶)ボタン	12
電源/再生/一時停止ボタン	45
動作環境	29
時計横表示	53

ナ行

内蔵マイク	10, 12, 38
-------	------------

ハ行

バッテリー	14
バッテリー残量	18
早送り	45
早戻し	45
ビットレート	61
日付/時刻合わせ	55
日付と時刻	22
表示画面	12, 13
ファイル形式	27
フォーマット(初期化)	59
フォルダ構造	42
付属品	11
ホールド機能	25
ボタン操作	45

マ行

メニュー言語	55
メニューリスト	77
戻る(◀◀◀)ボタン	45

ラ行

リジューム	55
リピートオール	47
リピートフォルダ	47
リムーバブルディスク	33, 59, 69, 70

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL **0120-3121-68**

FAX **0120-3121-87**

(受付時間)

365日/9:00~19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL **0120-8802-28**

FAX **03-3260-9739**

(受付時間)

月~金曜日/9:00~17:30

携帯、PHSからもご利用できます。
土曜・日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の
休日は休ませていただきます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求に対しても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

日立リビングサプライホームページ

<http://www.hitachi-ls.co.jp/>

iMUSE ホームページ

<http://i-muse.jp/>

(ヘ) 消耗品を取り替える場合。

(ト) 本書のご提示がない場合。

(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記載がない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

2. この商品について出張修理をご希望する場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には本書P.82に記載のご相談窓口にご相談ください。
5. お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。

Effective only in Japan

-
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または本書のご相談窓口にお問合せください。
 - 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
 - このデジタルオーディオプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後3年です。
 - 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

デジタルオーディオプレーヤー保証書

持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形名	HMP-G1			※お買い上げ日			保証期間	
				平成	年	月	日	本体：1年
※お客様	ご住所	〒 -						様
	ご芳名							
※販売店	住所	〒 -						
	店名	TEL						

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引越、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用)に使用されて生じた故障または損傷。

(裏面に続く)

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29(アクロポリス東京)

TEL.03(3260)9611 FAX.03(3260)9739